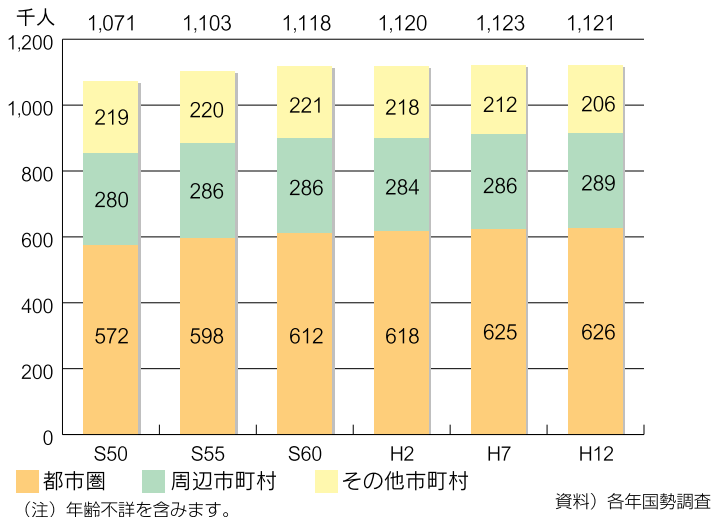


# 2.

## 富山高岡広域都市圏の概要

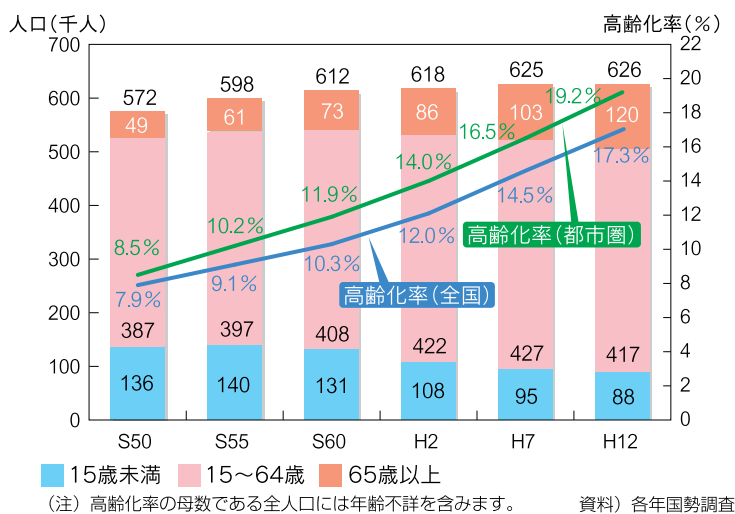


### 都市圏・周辺市町村・富山県の人口推移



●富山高岡広域都市圏（以下、都市圏と称す）における人口(全年齢)は、62.6万人(平成12年)で、10年前(平成2年)に比べて1.01倍に伸びています。富山県全体の人口は、平成7年国勢調査に比べ減少しましたが、都市圏の人口は鈍化傾向にあります。また、都市圏の人口は富山県全体の人口の55.8%であり、半分以上を占めています。

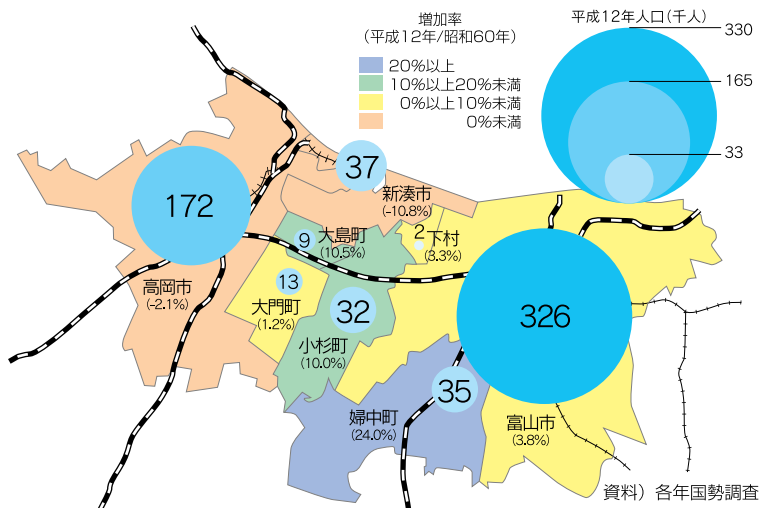
### 年齢3階層別の人口(都市圏)、高齢化率(全国・都市圏)



●都市圏の人口を年齢3階層別にみると、65歳以上人口(以下、高齢者人口と称す)は年々増加しており、平成2年に比べて約1.4倍と全人口の伸び(1.01倍)以上です。また、都市圏の高齢化率\*1は全国よりも高く、平成12年において19.2%と約5人に1人が高齢者となっています。一方、15歳未満人口は昭和55年以降減少しており、都市圏における少子・高齢化の傾向はますます進んでいます。

\*1 高齢化率=高齢者人口/全人口

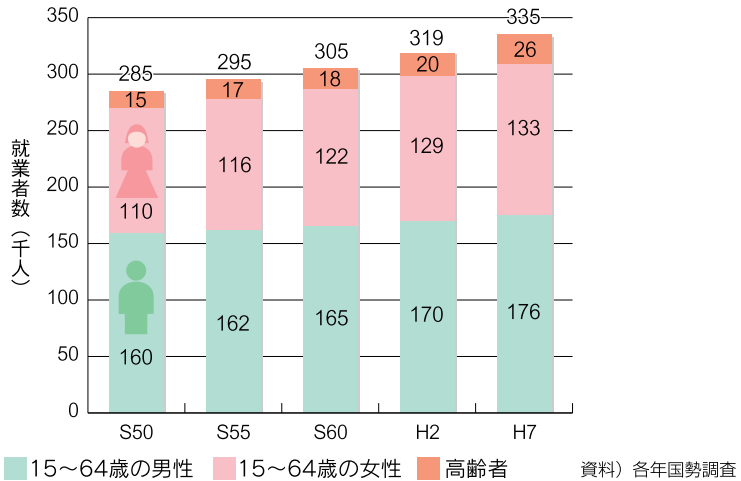
### 市町村別人口(都市圏)



●昭和60年から平成12年にかけての人口増加数については、富山市が約1.2万人と最も多くなっています。人口の増加率については、婦中町の24.0%、大島町の10.5%、小杉町の10.0%の順に高くなっています。

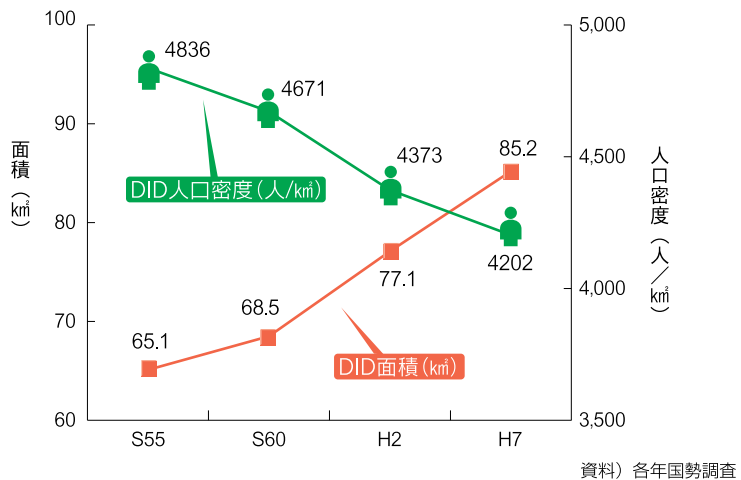
- 高齢者の就業者数が増加し、平成7年では26千人で、全就業者数の7.8%を占めています。また、20年間に1.73倍と大きく伸びています。

属性別就業者数推移（都市圏）



- 人口集中地区(DID)\*2の面積は85.2km<sup>2</sup>(平成7年)で、都市圏全体の面積の15.9%になります(都市圏全体の面積は535.84km<sup>2</sup>)。昭和55年からの15年間にDID面積は1.31倍に拡大していますが、DID人口密度は0.87倍となっており、市街地の低密度化、郊外化の傾向が進んでいます。

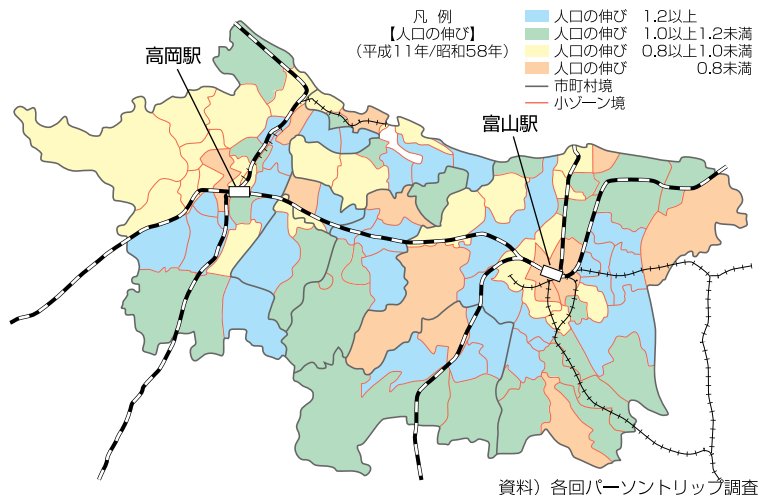
人口集中地区の面積・人口密度の推移（都市圏）



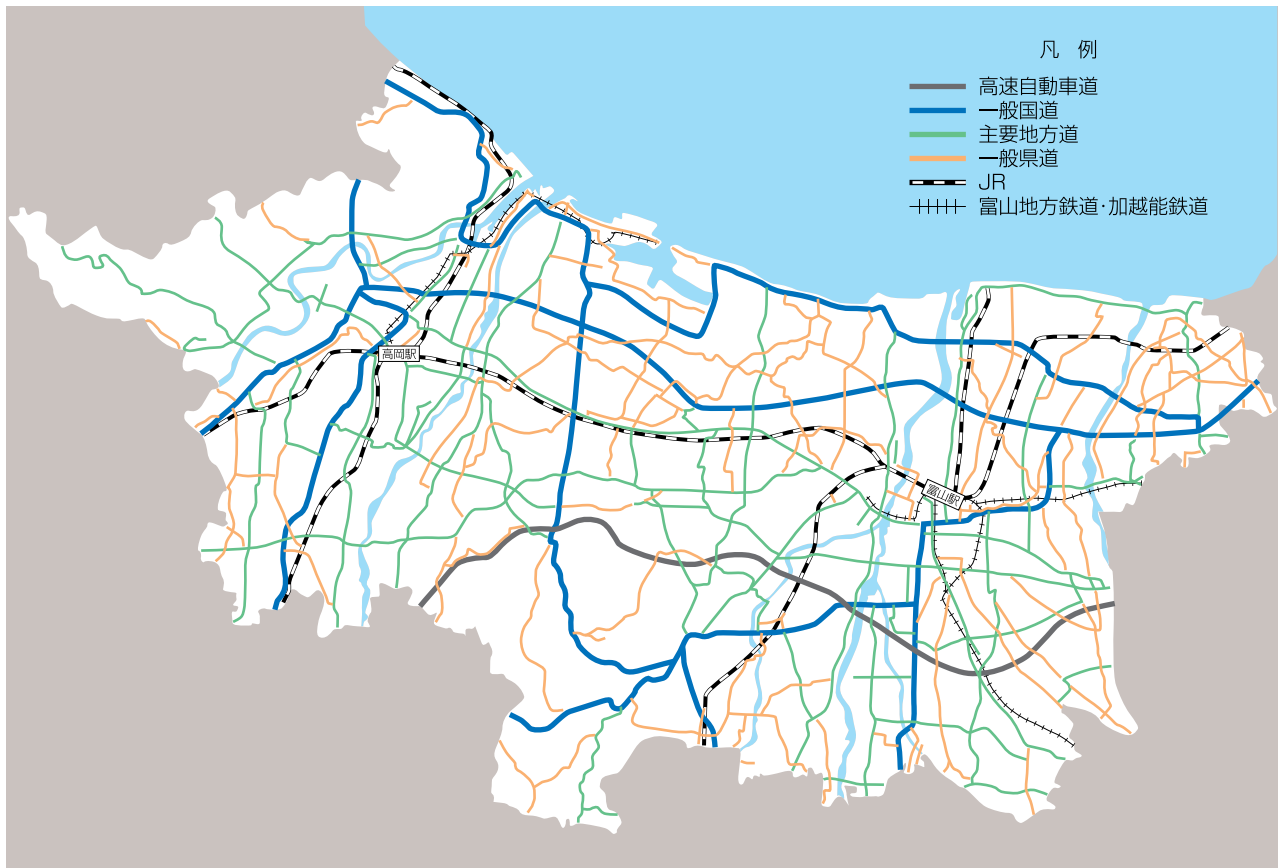
\*2 人口集中地区(DID)は国勢調査で設定されるもので、人口密度が4,000人/km<sup>2</sup>以上の調査地区が互いに隣接し、その人口が5,000人以上となっているところです。

- 地区別に昭和58年から平成11年への人口の伸びをみると、富山市や高岡市などの都心部において0.8未満と減少しています。一方、各都心部の周辺では、人口の伸びが1.2倍以上と増加している地区が多数みられます。

地区別人口の伸び（都市圏）



## 鉄道網図・主要道路網図（都市圏）

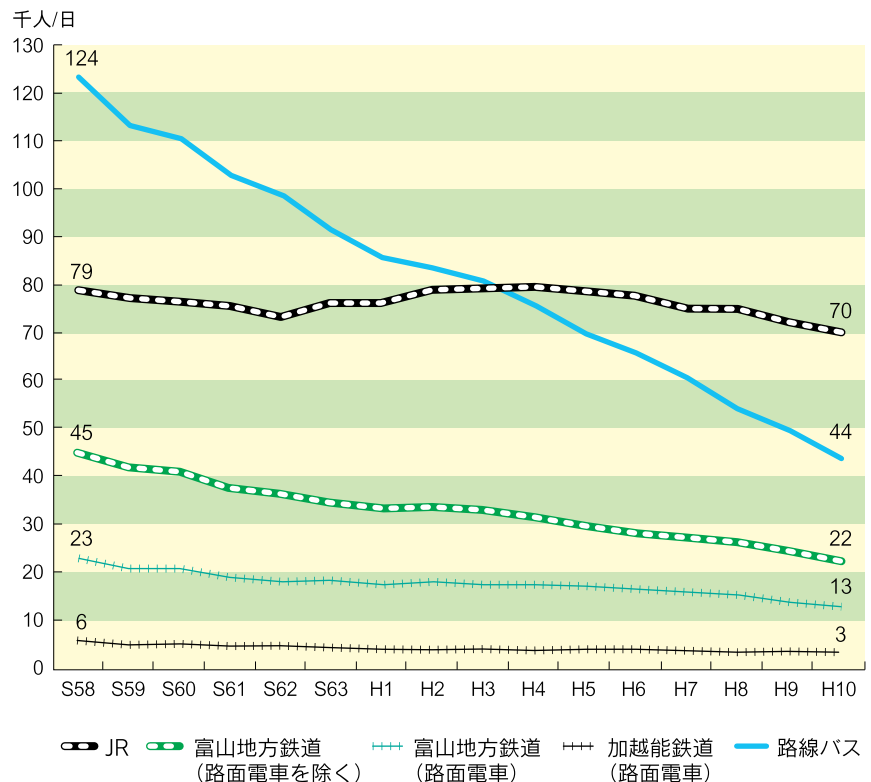


資料) 平成11年道路交通センサス

- 富山高岡広域都市圏の鉄道網は、富山駅および高岡駅を中心として放射状に形成されています。また、主要道路網は、北陸自動車道や一般国道を基幹として、主要地方道および一般県道がそれらの間を補うように東西・南北に整備されています。

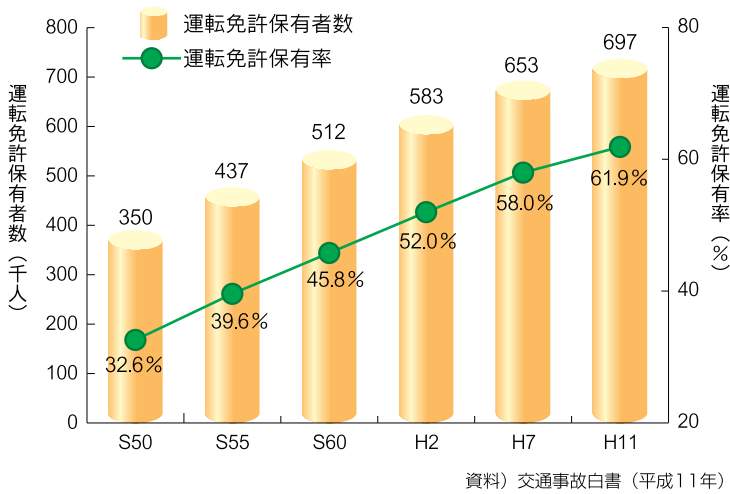
- 公共交通機関利用者数は、横ばいまたは減少傾向となっています。特に、路線バスの利用者数が著しく減少しています。

## 公共交通機関利用者数の推移（富山県）



資料) 富山県統計年鑑

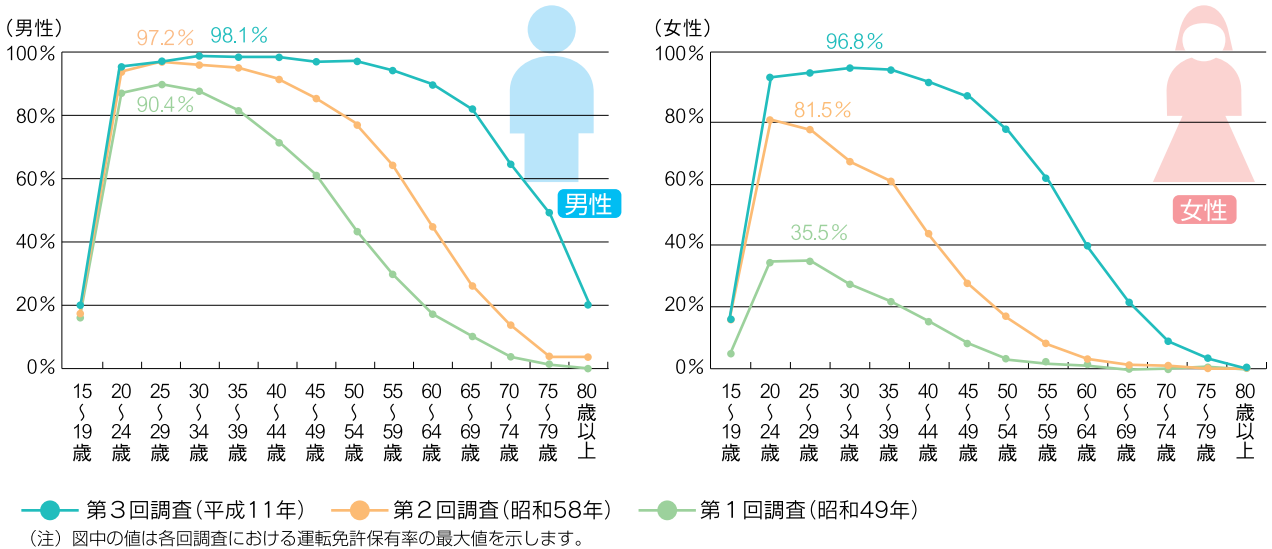
運転免許保有者数の推移（富山県）  
運転免許保有率の推移（富山県）



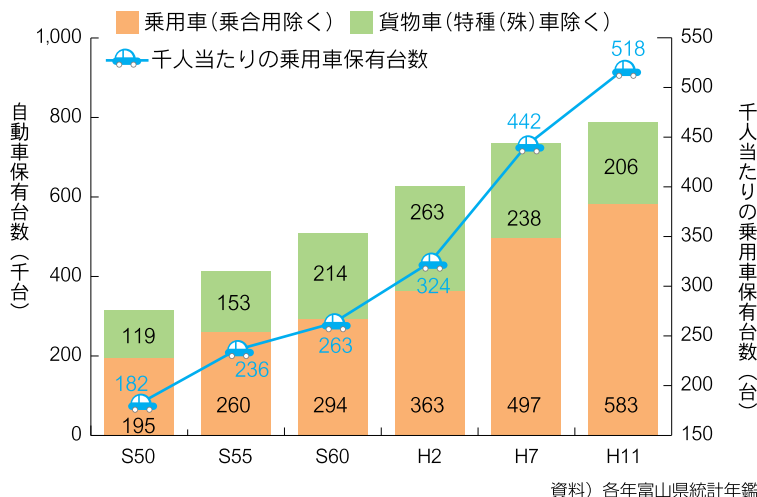
● 運転免許保有者数が大幅に増加しています。また、運転免許保有率\*3（富山県）をみると、昭和60年の45.8%から平成11年の61.9%となっています。特に、高齢者や女性において、運転免許保有率が大幅に上昇しています。

\*3 運転免許保有率 = 運転免許保有者数 / 全人口

年齢階層別運転免許保有率の推移（調査対象地域居住者）



自動車保有台数の推移（富山県）  
千人当たり乗用車保有台数の推移（富山県）



● 自動車保有台数が大幅に増加しています。また、千人当たりの乗用車保有台数（富山県）をみると、昭和60年の263台/千人から平成11年の518台/千人と約2倍に増加しています。